

## 新型コロナウイルス感染症の拡大による 水道事業経営への影響について ⑳

令和3年10月検針分（主に8・9月使用分）

### 用途別の影響

令和3年10月分の検針データを前年（コロナ後）及び前々年（コロナ前）と比較すると、主に家庭用となる20mm以下の口径は、前年度との比較では、水量は約25,000m<sup>3</sup>、2%の減、料金は約310万円、2%の減となりました。また前々年度との比較では、水量は約95,000m<sup>3</sup>、7%の増、料金は約850万円、7%の増となりました。

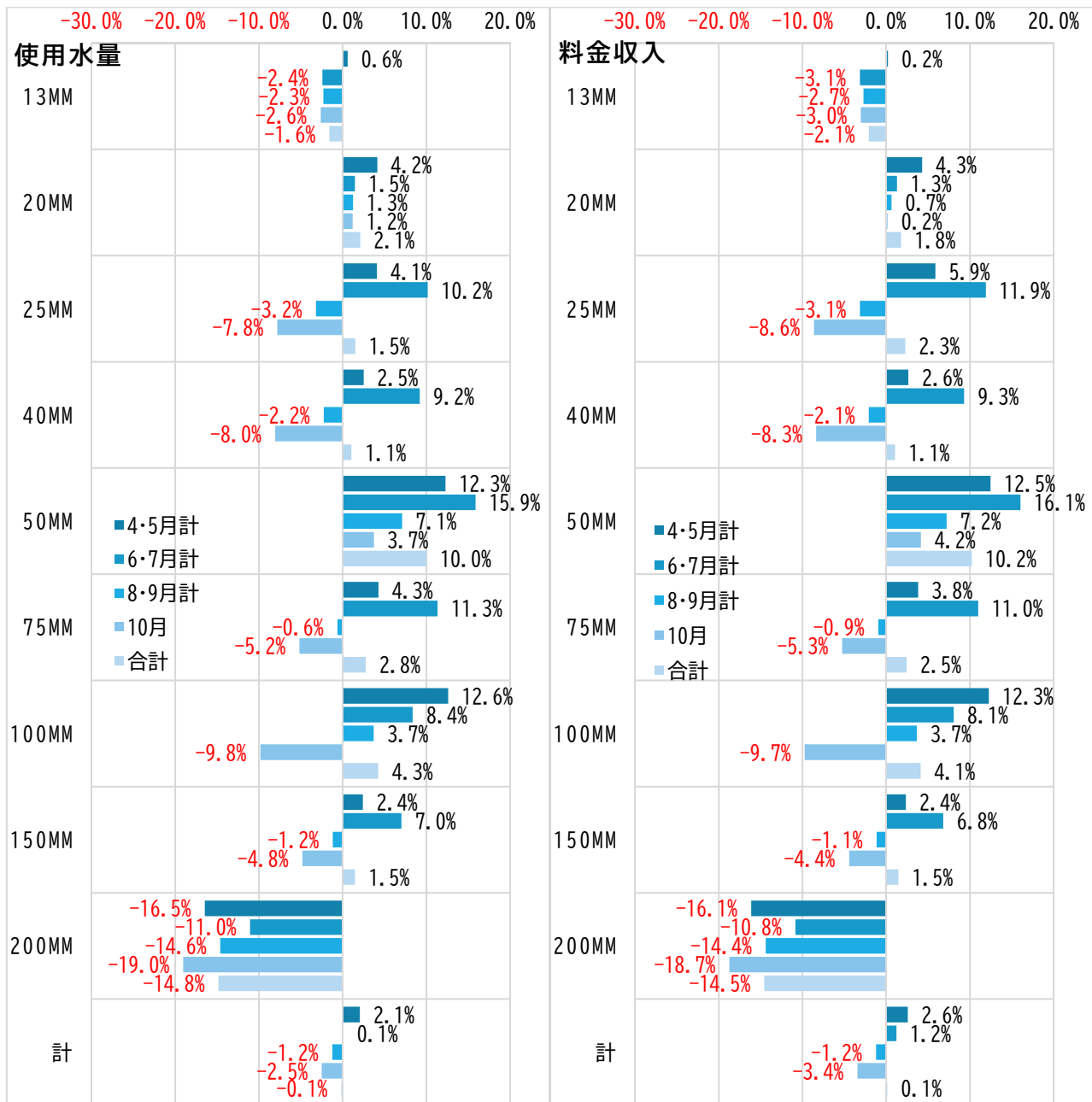
主に業務用となる25mm以上の口径は、前年度との比較では、水量は約18,000m<sup>3</sup>、6%の減、料金は約390万円、5%の減となりました。また前々年度との比較では、水量は約16,000m<sup>3</sup>、5%の減、料金は約370万円、5%の減となりました。

合計では、前年度との比較では水量は約42,000m<sup>3</sup>、2%の減、料金は約710万円、3%の減となり、前々年度との比較では水量は約79,000m<sup>3</sup>、5%の増、料金は約480万円、2%の増となりました。昨年は猛暑の影響を受けており、前年度比では減となりますが、一昨年度は上回っています。

検針年	区分	10月検針分（8・9月使用分）		
		20mm以下	25mm以上	合計
R1	水量（m <sup>3</sup> ）	1,274,149	315,620	1,589,769
	金額（税抜き：円）	123,314,760	71,729,165	195,043,925
	供給単価（円）	96.78	227.26	122.69
R2	水量（m <sup>3</sup> ）	1,394,273	317,196	1,711,469
	金額（税抜き：円）	134,968,640	71,988,860	206,957,500
	供給単価（円）	96.80	226.95	120.92
R3	水量（m <sup>3</sup> ）	1,369,291	299,686	1,668,977
	金額（税抜き：円）	131,825,060	68,042,720	199,867,780
	供給単価（円）	96.27	227.05	119.75
対R2 増減  (コロナ後 との比較)	水量（m <sup>3</sup> ）	-24,982	-17,510	-42,492
	増減率	-1.79%	-5.52%	-2.48%
	金額（税抜き：円）	-3,143,580	-3,946,140	-7,089,720
	増減率	-2.33%	-5.48%	-3.43%
	供給単価（円）	-0.53	0.09	-1.17
対R1 増減  (コロナ前 との比較)	水量（m <sup>3</sup> ）	95,142	-15,934	79,208
	増減率	7.47%	-5.05%	4.98%
	金額（税抜き：円）	8,510,300	-3,686,445	4,823,855
	増減率	6.90%	-5.14%	2.47%
	供給単価（円）	-0.51	-0.22	-2.93
	増減率	-0.53%	-0.10%	-2.39%

### 口径別の対前年変動率

口径別の対前年変動率を見ると、使用水量、料金ともに、20mmと50mmを除くすべての口径で減となりました。中でも100mmは、今年初めての減少となります。



※料金収入は、減額措置の影響を差し引いています。

### 考察

主に家庭用の20mm以下は6月連続、主に業務用の25mm以上は2月連続の前年比減となりました。しかしながら、20mm以下は、コロナ禍前の一昨年度を大きく上回り、新型コロナウイルス感染症の拡大による家庭での需要増は、いまだ続いていることが推測できます。今回の検針は、8月、9月の使用実態を表していますが、総合計は、先月、先々月に続き猛暑であった昨年度を3月連続で下回りました。

料金収入の3分の1を占める25mm以上をみると、25、40、75、150mmで使用水量の減少幅が拡大、また100mmは減少に転じ、唯一増え続けている50mmでも、増加幅が減少しました。これらの傾向は、悪い兆候と見て取ることもできます。4月からのトータルでは、料金収入は微増ですが、使用水量は今月になって初めて前年を下回ることであり、今後も利用動向は、注意深く観察する必要があります。